施政方針の概要・代表質問・一般質問（1）

代表質問・一般質問の要旨

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派による代表質問と会派に属さない議員の一般質問を行いました。ここでは、最初に市長の施政方針の概要を掲載した上で、主な質問内容についてお知らせします。さらに詳細についてお知りになりたい方は、会議録をご覧ください。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※会議録（5月下旬発行予定）は、市内の図書館・公民館、両庁舎の情報公開コーナー、議会事務局に備えてありますのでご覧ください。また、ホームページでもご覧いただけます。

施政方針の概要

《はじめに》

市民の負託を受け市政運営を司る最高責任者として、不断の自己改革に努め、真の地方分権に向け取り組む。

《計画的な市政運営》

本年度は、市政運営の羅針盤とも言える総合計画について、平成21年度からの後期5年に向けた見直し作業に着手する。

《2人副市長制の導入》

市の持続的発展と戦略性や柔軟性に富んだまちづくりを推進するため、副市長2人制を提案した。

《簡素で効率的な組織》

自治体を取り巻くさまざまな課題の解決、市民にとってのわかりやすさを視点に組織再編に取り組む。

《行財政改革の必要性》

本年も新たな施策を積極的に展開する。また、行財政改革を積極的に推進する。

《主要な取り組み》

広報紙の刷新

「見やすく、わかりやすい情報の提供」を図るため、広報紙面を刷新する。

魅力あるまちづくり

地域住民や民間企業とともに良好な住環境の創出や、地域の個性を生かしたまちづくりに努める。

駅周辺整備

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくり推進は、最重要課題であり積極的な取り組みを行う。また、保谷駅南口再開発事業の実現に向け取り組む。

道路整備とはなバス

都市計画道路の整備を継続して進める。はなバスは、ルートのあり方や運行方法について検討を進める。

工事中の保谷駅南口交番周辺

子育て施策の推進

田無保育園の建てかえが完了した。本年度は、西原保育園の建てかえに向けた設計、児童館等の施設改修を行い、安心して子どもを預けられる環境整備に努める。また、子ども施策の拠点となる「（仮称）こどもの総合支援センター」の平成20年開設に向け、建設工事を進める。さらに、子ども家庭支援センターを先駆型に移行し、児童虐待の未然防止、早期発見に努める。

小児医療制度の充実

本年10月より、乳幼児医療費助成制度の所得制限なしの無料化対象を、小学校就学前までに拡大する。

高齢者支援の充実

住みなれた地域で安心して生活できるまちを目指し、認知症高齢者専用デイサービス等の整備、平成20年度開館に向けた住吉福祉会館建てかえ工事を行う。また、下保谷福祉会館建てかえに向け設計に着手する。

下野谷遺跡公園の開園

本年4月、下野谷遺跡公園をオープンする。

ごみ戸別収集と有料化

本年9月以降、家庭ごみの戸別収集、その他プラスチック類の分別収集、家庭ごみ有料化を順次実施し、広域的課題であるごみ減量を市民とともに推進したい。

教育施設の整備

青嵐中学校は、4月に新校舎の利用を開始する。また、谷戸小学校、向台小学校の大規模改造工事や田無第三中学校の耐震補強工事を実施する。

教育支援の充実

昨年度に続き、通常学級に在籍する障害児への介助員を配置するとともに、新たに35人以上の新小学1年生の学級に対して学習支援員を配置し、きめ細やかな対応を開始する。

農商業支援施策

新たに施設設置経費等の助成を行い、農地利用率向上と安心安全な農産物の生産等の促進を図る。また、空き店舗に新規開業する商工業者に対し一定期間家賃補助を行う制度を創設する。

《おわりに》

市政の限りない発展に向け、誠心誠意、全力で取り組む覚悟である。

※施政方針の詳細は、3月15日号の市報及びホームページをご覧ください。

西東京自由民主党・無所属

平成19年度施政方針を問う!!
市長のリーダーシップに疑問
市民生活に影響のある値上げを阻止するために議論す。

鈴木久幸　浅野高司　田中のりあき　稲垣裕二　海老沢進　小林たつや　大塚光男　小峰和美　遠藤源太郎

市長の政治姿勢（施政方針）について

質問　一党一派に偏しない市政を目指す姿勢は変わりないか。

政策協定を結んでいるある支持会派は、公共料金の値上げや行政改革のあり方を見直し、防波堤になると言っている。しかし施政方針の中では値上げの話が出ている。この点についての整合性を問う。

答弁　一党一派に偏しない市政は私の基本的な考え方の根幹をなすものであり、その考え方に変わりはない。また、支持会派より一定の理解は得ている。

質問　副市長2人制を提案しているが、一方で財政の健全化を図るために組織再編をするとある。矛盾していないか。また2庁舎問題についても伺う。

答弁　市長を直接補佐する副市長を2名置くことで事務事業の遂行の分担を図り、重要課題に対応したい。

2庁舎問題については、合併後7年目を迎え、どのような問題点があるのか庁内で検討している。

歳出の基本的な考え方について

質問　合併特例債を活用した各種施設整備、乳幼児医療費助成制度、高齢者福祉政策等の充実を挙げているが、市長の考え方を問う。

答弁　マニフェストに掲げた事業を中心に、総合計画の着実な推進に向けた取り組みを行いたい。

質問　広域連携のあり方や2007年問題の検討について市長の考えを問う。

答弁　広域連携については、自治体が今まで以上に連携して取り組むことが有効になる。既にごみ、医療問題等で行われている。

団塊世代の豊富な知識と経験を地域社会の中で活用したい。

都市計画街路事業について

質問　3・4・6号線（調布保谷線）、保谷駅南口再開発事業の進捗状況について伺う。

答弁　調布・保谷線はおおむね8割を超える用地買収が完了したと聞いている。

保谷駅南口再開発事業は本年1月にII街区の施設建築物築造工事に着手したが、公益施設オープンは延伸せざるを得ない。

交通計画整備事業について

質問　「はなバス」の車種入れかえの費用対効果について伺う。

答弁　車種変更を行うことになりメンテナンス費用を中心とするコストの削減と乗車人員の拡充が図られる。

子育て・健康長寿の推進について

質問　子ども家庭支援センターを先駆型に移行するが、どのようなものになるのか。

答弁　先駆型に移行することで児童虐待防止対策の拡充を図りたい。

質問　小規模多機能型居宅介護施設等の整備を進めるが、高齢者福祉がどう変わるか伺う。

答弁　地域整備によって地域密着型サービスが推進される。

みどりの創造とリサイクルの推進について

質問　（仮称）リサイクルプラザについて、この施設を環境行政の拠点とするためにどのような運営をしていくのか。

答弁　資源循環型社会の形成に向け、拠点施設となるよう努める。

下野谷遺跡公園（東伏見6丁目）

質問　下野谷遺跡公園が本年4月にオープンすることになっている。公園の運営や管理方法はどのようにしていくのか。

答弁　地元住民、商店会などに協力を求め、文化財としてもアピールする。

意見　地元や遺跡サークルの方々と、小さく産んで長く育てていくような取り組みをしていただきたい。

質問　東大農場について、平成20年度末の方針策定を目標に検討を進めるとあるがどう対処するのか。

答弁　移転時期が明らかにされていない。懇談会からの報告書に沿い、移転実現化後の跡地利用のあり方、地域資源のまちづくりへの生かし方の2つの視点から検討する。

質問　ドッグランについて、昨年の3月議会で予算づけされているが、実現されて

※3ページへ続く。